

毎週日曜発行

2021 2/14

こども新聞
週刊

がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)

きょうのテーマ

東日本大震災の発生から間もなく10年。「みんなの備え、教えて」のテーマ募集に、自分と学校の取り組みを伝えてくれる声が届いたよ。

◇
仙台市長命ヶ丘小6年の齊藤未来さんは、防災リュックについて教え

ぼくも私も 語りたい!

みんなの備え、教えて

避難グッズ工夫／マップ作成

てくれました。ヒントにしたのは地域合同防災訓練での講話。「本やゲームを入れ、避難先でもリラックスできる環境をつくるのが大切」と聞きました。

「震災時、慣れない避難所生活で疲れやストレスがたまった人は多くいたそうです」と齊藤さん。自身のリュックには「カードゲームや音楽プレイヤーなどを入れ、避難先でもリラックスできるように見直しました」。

同小6年の五十嵐郁佳さんも防災訓練に触れ、「新聞紙で食器を作ったり、スタンプラリーをしたりして、災害や防災についてたくさん学んでいます」と説明します。

学校では総合学習の時間にスナック菓子でポテトサラダを作る災害時の調理を体験。家庭では仙台市の震災遺構荒浜小を訪ねたり防災カードゲームをしたりしています。将来の災害の恐れも想

定し「地域の役に立てるよう、訓練や学びを大切にしたい」と決意を示してくれました。



仙台市旭丘小6年の日下愛理さんは、家では

備蓄して使った分を買い足す食料品の「ローリングストック」を続けています。湯せん調理ができるビニール袋を使うなど日用品もひと工夫。懐中電灯も定期的に点検しています。

学校での避難訓練につ



長命ヶ丘小で行われた地域合同防災訓練＝2019年6月、仙台市泉区

いては「逃げる時に大切な『おはしも』（おさない、走らない、しゃべらない、戻らない）を心がけます」とポイントを説明します。



震災の津波で被災した石巻市釜小は防災を積極的に学んでいます。2～6年生が地域の復興・防災マップ作りに挑

戦。このうち3年生は学区内を歩いて津波避難ビルや津波の高さを示す看板を探しました。

3年の松元柚葉さんは「（実際に歩いて）マップを作って地域の被害が分かりました。大きな地震が起きたら津波が来ることを予想し、すぐ高い所やビルに避難できるように準備したい」と書いてくれました。

◇
いろんな備えがあるんだね。興味を持ったことをみんなもやってみて。

今週の注目ニュース

◇14日（日）バレンタインデー

キリスト教の司祭バレンタインを愛の守護神としてまつた日とされ、恋人同士が贈り物をし合う日として定着したよ。女性が男性にチョコレートを贈るのは日本独自で、菓子メーカーの宣伝がきっかけだそう。

きょうの紙面

- 2面 イマ★どきりポート
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 いいね 小学校
- 6面 絵でわかる こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 子育て・教育相談コーナー

みんな思い出

みんな言いたい

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ